

# 巻 頭 言



日鉄エンジニアリング株式会社

おり た かず ゆき  
技術本部長 **織田 和之**

このたび、『日鉄エンジニアリング技報』Vol. 11を刊行いたしました。

弊社は2006年会社設立以来、製鉄プラント、環境ソリューション、エネルギーソリューション、海洋構造物、建築・鋼構造、パイプラインなど多岐にわたる事業領域で、社会・都市・産業インフラを支える商品やサービスを提供させていただいております。

従前より日本製鉄グループの多彩な技術集団の連携により、先端技術を駆使してエンジニアリング事業のコアとなる技術の開発に努めて参りました。さらに「一歩先をいく技術とアイデアで、お客様に最適なエンジニアリングソリューションを提供し、グローバルな社会・産業の発展に貢献します」との企業理念のもと、EPCに加えて広くソリューションを提案できる会社への変革を目指して努力しております。本技報ではSDG'sに基づいた開発として、低炭素型シャフト炉、再生可能エネルギー利用、セルロース系エタノールの開発、大規模沖合養殖システム等を掲載させていただきました。また喫緊の課題であるインフラ更新のためのPC床版の開発、鋼製基礎の開発、石炭の安全性技術開発に於いても社会・産業に貢献できるものと考えております。さらに、日本で初のドライチャンバー工法の導入でお客様のニーズに迅速に応えるべく技術分野を広げて参りました。

これらの弊社開発技術のみならず「External×Internal Networking」をキーワードに社内外との連携を強化し、我々の持つコア技術と社外の優れた技術を積極的に組み合わせ、より良い商品やサービスをより早くより安くお届けできるように努めています。

本技報を通じて当社の取り組みの一端をご紹介します。皆様からのご意見・ご要望を頂戴することにより、社会に役立つ技術の開発に繋げていきたいと考えておりますので、今後ともご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年1月